

学校教育目標：社会に貢献し、よりよく生きる生徒の育成

# 知覚動考

姫戸中学校だより NO8  
「ともかくごこう」  
令和7年11月21日  
文責：校長 豊原 康德

育成を目指す資質・能力：3C (Challenge Communication Collaboration)

## 学習発表会 11月7日（金）開催



保護者をはじめ学校運営協議会委員、民生児童委員など地域の方々にも多数参観いただき、大変ありがとうございました。限られた準備期間でしたが各学年、創意工夫しながら学習の成果を発表することができました。

### <ステージ発表>

1年生は、インタビューによる調べ学習を行い、水産漁業・希少生物、行事・防災・環境、飲食・特産物などの姫戸の魅力を発表しました。2年生は、起業家学習の一環としてSDGsの視点を踏まえた環境に配慮した商品や料理等の提案をしました。3年生は、15年後の同窓会という場面設定の創作劇の中で、職場体験の内容や進路選択にあたっての悩みや葛藤について表現しました。あかね学級は、体育館後方で販売する商品や花苗（自分たちで作成、準備したものが主）の紹介と4人+ゲスト（松尾事務職員）による合奏を披露しました。ステージ発表の最後は全校合唱で締めくくりました。

### <作品展示>

体育館壁面には各学年の総合的な学習の時間での学習の記録、あかね学級の制作物を掲示しました。金工室には、美術の風景画、国語の硬筆・毛筆、理科の自由研究、英語の自己紹介カード、音楽の創作作品などを展示しました。

## 郡市音楽会【11月19日天草市民センター】

全校生徒で出演し、学習発表会等でも披露した「その先へ」と「手紙～拝啓 十五の君へ～」の2曲を演奏しました。いつもとは違う、ホールという環境で緊張はしましたが、納得いく演奏ができました。



## 「面白く生きよう」～こころの講演会実施～

### 【講師紹介】

**大谷 徹英（おおたに てつじょう）先生 薬師寺副住職（奈良県）**

昭和38年東京都江東区にある浄土宗の重願寺の二男として生まれる。高校在学中17歳の時、薬師寺 故・高田好胤（たかだこういん）和上に師事、薬師寺の僧侶となる。龍谷大学文学部仏教学部卒業、同大学院修士課程を修了。1999年春から全国各地で法話行脚中。2003年8月 薬師寺執事に就任、2019年 薬師寺執事長に就任、2025年10月から薬師寺副住職として現在に至る。著書も多数執筆。

10月21日（火）に「こころの講演会」を開催しました。迫力がありながらも心を引きつける法話で、あっという間の1時間でした。「いのちを運ぶで 運命 その運転手は自分」という言葉から「生き方」について色々と考えることができました。当日は、学校運営協議会や民生児童委員の方々も参加されました。



## P T A 親子ミニバレーボール大会

10月18日（土）に開催されました。例年は夏の開催でしたが、暑さの影響を考慮し、この時期となりました。多くの保護者の皆様にも参加いただき、大変盛り上がりしました。各学年2チーム編成の総当たり戦でしたが、3年A、Bチームが優勝と準優勝でした。



## 保育園運動会ボランティア

10月18日（土）の午前中に開催された姫戸ひかり保育園の運動会に、2、3年生の有志12人がボランティアで参加しました。例年参加している行事ですが、生徒会が重点項目としている地域貢献活動の一環です。競技に使用する道具の準備や決勝等のお手伝いことができました。

